

大学が求める人材像

本学の目指す教育を受けるにふさわしい能力、適性を有し、かつ、向学意欲の旺盛な者を入学させる。

大学院の課程の人材養成目的

【修士課程、博士前期課程】

博士前期課程は、幅広く深い学識の涵養を図り、専門分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門的な職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。

【5年一貫制博士課程、博士後期課程、3年制博士課程、医学の4年課程】

博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行うに足る、又は高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍し得る高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

【専門職学位課程】

専門職学位課程は、幅広い分野の学士課程の修了者や社会人を対象として、特定の高度で専門的な職業能力を有する人材の養成に特化して、国際的に通用する高度で専門的な知識・能力を涵養することを目的とする。

【法科大学院の課程】

法科大学院の課程は、専ら法曹養成のための教育を行うことを目的とする。

入学者選抜に関する方針

大学院課程の入学者選抜においては、人材育成の目標を明確化し、社会人や留学生を含めた幅広い優秀な学生を受入れる。

入学者選抜方法等

(1) 入学試験は、次のいずれかの方法により実施する。

- ① 推薦入試
- ② 一般入試
- ③ 社会人特別選抜
- ④ 外国人留学生等の特別選抜(外国人留学生特別プログラム等に係る特別選抜及び渡日前入試、国費外国人留学生の選抜等を含む。)
- ⑤ 本学の博士前期課程(修士課程を含む。)から博士後期課程への進学に関する特別選抜

(2) 入学者選抜の方法は、書類審査、学力試験、小論文、面接又は実技試験による。